

# オーストラリア スタディ・ツアー

市内中学校2年生14人が、10月17日から25日まで、オーストラリアへのスタディ・ツアーを実施しました。

参加した生徒たちは、この9日間に現地の中学生との交流やホームステイを体験し、外国への理解を深めるなど、多くのことを学びました。



## 言葉の壁を乗り越えて

蒲郡中 小川恭雅紀

僕がこのスタディツアー全体を通して、思ったことは人種や言葉の違いに関わらず、思い切つて話せば何とかなると言うことです。買い物の時「How much?」と聞いてみると、早くて聞き取れないことがありました。そんな時もあり切つて「Pardon?」と聞いてみると指でやってくれました。その時思い切つて聞いてよかつたと思いましたが、こうして経験を今後いろいろな生活の中で、役立てられるようにしていきたいと思っています。

## びっくり！日本の学校とのちがいが

蒲郡中 竹内 佑美

オーストラリアと、日本の学校では、違いがありすぎてびっくりしました。一つは朝休みのモーニングテイという、家からもつて来たおやつを食べる時間があることです。もう一つは学校で牛や羊を飼っていることです。これは、ブライトの町が緑豊かで広大な土地があるからこそできることだと思えます。このような貴重な経験ができたのは、たくさん人の応援や協力、支えがあったからなので、関わった全ての方々に感謝し

## たいと思います。

とても優しいオーストラリアの人々

三谷中 平野 海里

僕がオーストラリアに行つて一番感じたことは、「オーストラリアの人々は優しい！」ということだと思います。初めて学校に行き、授業をする時も常に気軽に話しかけてくれました。英語が聞き取れなかつたり、うまく言い表せない僕に優しく教えてくれました。それだけですごく安心することができました。僕は、「相手の立場になつて考えることの大切さ」を学ぶことができました。

## Australia Sky

三谷中 水藤万希子

「自分の視野を広げ、たくさん人の立場に立てるように」それが私の目標でした。ブライトP12校では、日常生活、スポーツ、アートなどで、文化の違いを体験し、とても充実した5日間のホームステイでした。今回のツアーでは、たくさん新鮮なことに出会い、人のために行動することの大切さを学びました。これからも視野を広げるチャンスを見つけ、オーストラリアの空のように広い心を持ちたいと思っています。

## すべての事を楽しむ

塩津中 戸澤 一樹

僕がこのスタディツアーで一番心に残っているのはホームステイやブライトP12校での生活です。僕は「自分を成長させたい」と思っているこのツアーに参加しました。オーストラリアの人が教えてくれたことです。それは『すべての事を楽しむ』という事です。すべての面で笑顔が絶えず、楽しそうでした。自分は苦手な事や嫌いな事から逃げていたけど、これからは楽しみながらいろいろな事にチャレンジしていきたいです。

## Home stay を通じ

塩津中 石田 千明

私にとってHome stayは、自分を成長させるものとなりました。初日は、不安な事ばかりで「もう嫌だっ！」と思うときもありました。しかし、日がたつにつれ、Host familyの優しさや思いやりを感じ、とても胸があつくくなりました。相手を思いやる本当の気持ち、たとえ言葉や文化が違つても伝わるという事を感じました。この経験は、受け入れる気持ち・本当の優しさを学ぶ最高のものとなりました。